



建交労



2022年1月11日
 建交労神奈川県南支部
 2022年春闘No.3
 2021年度推進ニュース⑩通算244号
 発行責任者 小島 茂

神奈川県本部は9日コロナ感染防止のため規模を縮小し2年振りで新春旗開きを開催！

神奈川県本部は、9日に2年振りとなる新春旗開きを開催しましたがコロナの感染を防止する観点から参加人数を最小限に制限しました。来賓を建交労中央本部の鈴木書記次長と神奈川県本部の山田事務局長2名にするなど、参加者は



中央本部の鈴木書記次長・神奈川県本部の伊藤委員長



県南支部の小島新委員長・神奈川県連山田事務局長

全体で17名でした。神奈川県南支部では小島新委員長、佐藤前委員長、県本部役員を兼ねる大島書記長（県本部副委員長）、清野副委員長（同執行委員）、金崎書記次長（同会計監査）

に加え弥生京極社班の原班長が参加しました。また、例年の旗開き会場として利用してきた労働プラザのレストランがコロナ禍によって利用できないため横浜中華街の店舗（北京カオヤーテン）での開催となりました。

春闘アンケート第2次集計・支部の平均賃上げ要求 52,411円 目標の350人分集約に向けアンケート活動をさらに広げよう！

建交労は、昨年9月段階から2022春闘に向けた業種部会・雇用形態ごとの要求アンケート活動に取り組んできましたが1月7日付で第2次集計を発表しました（第1次集計は昨年11月25日）。第2次集計によるトラック職場のアンケート集約は全国で1,758人賃上げ要求は月額平均44,203円です。そのなかで神奈川県南支部のアンケート集約数は95人、賃上げ要求では月額平均52,411円と第1次集計の47,561円を4,850円上回り全国平均を8,200円超上回っています。一方、分会・班ごとの集計をみると東進産業分会86,666円（集約数9人）、日酸運輸58,125円（9人）、イワサワ分会53,319円（49人）、扶桑運輸分会48,333円（3人）、三昭運輸分会45,555円（9人）、弥生京極社班27,363円（13人）などかなり格差があります。要求額で第2次集計が第1次集計を上回ったのは、第1次にはなかった東進産業分会の集計が反映されたためです。なお、支部の集約数は現在125人分ですが第2次集計には間に合わず今回の集計には反映されていません。

2022春闘アンケートの活動は終わっていません。1人でも多くの働く仲間の要求を反映させ要求の正当性や社会的影響力、組織拡大の芽を広げるために各分会・班は目標の組合員一人5人分（支部全体で350人分）の集約を必ず達成させましょう。

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」をとえ、歴代政権がかりうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事同盟を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 **9条改憲NO! 全国市民アクション**

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



kaikenno.com

連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 《☎03-3526-2920》
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな！実行委員会 《☎03-3221-4668》
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター 《☎03-5842-5611》
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 《☎03-3221-5075》
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声が広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏によびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031